

3. 津守 克嘉氏 (核融合科学研究所 教授)

核融合プラズマ加熱用中性子入射装置の進展 (仮題)

4. 笹谷 めぐみ氏 (広島大学原爆放射線医科学研究所 准教授)

実験動物モデルを用いた放射線発がん研究 (仮題)

技術交流会: 17:30~19:00

大阪ニュークリアサイエンス協会への入会のお勧めと今後の事業についてのご意見のお願い

協会では、年度の初めにあたり多くの皆様にご入会いただき、より会員ニーズに合うよう事業の見直しを行います。現在、会員の皆様、関係者の皆様にご意見いただき、事業の見直しや新たな展開について検討しています。

つきましては、多くの皆様にご入会をお勧めいただくと共に、研究会や見学会などの事業の実施方法、新しい事業の提案など、忌憚のないご意見を直接、または下記を利用して事務局までお寄せくださいますようお願い申し上げます。

○WEBからの【ONSA 事業へのご意見募集】フォーム URL (PC、スマートフォン共用) :

<https://ws.formzu.net/fgen/S58307960/>

○QR コード:



第28回 放射線利用総合シンポジウム開催報告

1. 開催の概要

このシンポジウムは、公立大学法人大阪 大阪府立大学研究推進機構と(一社)大阪ニュークリアサイエンス協会が主催し、2020年1月20日(月)午前10時から午後5時まで、大阪大学中之島センターにおいて開催された。放射線利用技術の向上と産業の振興のための応用を目的とし、一般の参加者をはじめ、異分野の研究者、技術者が相互に情報交換するという、他の講演会にない特徴がある。

【趣旨と概要報告】

放射線は、多くの研究分野における基本的なツールとして利用されている。放射線に関する研究は、広範な境界領域の学際研究であり、利用技術の向上が、利用分野の研究を飛躍的に発展させてきた。放射線利用は、ナノ材料、バイオ、医療、環境、エネルギーなど様々な先端科学や産業応用の基盤となっている。

今回は、各種放射線に係る、基礎科学、医学、環境科学、物理学、工学、関連大学の将来、に関する最新的话题を、各専門分野の第一線で活躍されている先生方から提供いただいた。また、2018年度のONSA賞の記念講演が行われた。講演者は各分野を代表する専門家であるが、一般にも理解できるよう、発表には工夫がなされた。会員のほか、大学教員、その他研究機関、民間企業、一般市民、学生など76人が参加し、質問時間を超過して、活発な議論がなされた。

シンポジウムの企画は、児玉靖司大阪府立大学教授を部会長とするシンポジウム企画部会において、29名の委員で2019年7月より準備された。全講演の資料集は84ページの冊子として参加者に配布されると共に、ONSAホームページに公開されている。またこのシンポジウムには次の各機関から後援、協賛、開催の助成をいただいた。厚くお礼を申し上げます。